

1 位 黒部宇奈月温泉

- ・ 黒部というと関東の人は、長野県と思う人が多いと思います。富山県であること、宇奈月の入口であることを知らせるためによいと思う、（茨城県）
- ・ 宇奈月温泉が富山県内の代表的温泉地であること。「温泉」と入るとお客さんもわかりやすく、目的地として設定しやすくなるため。（県内）
- ・ 観光の窓口となり利用客の増大につながるため。（市内）

2 位 新黒部

- ・ 新幹線の駅は新横浜、新大阪、新神戸のように「新」がよくついている。変にひねくるよりわかりやすく、新幹線の駅という感じがしてよい。（大阪府）
- ・ ダムが長野県側に取りれたイメージを取り返すため、あえて「新」として、黒部市のエリアはここだと知らしめたい。（市内）
- ・ 私は北海道出身。黒部という地名は全国に通用する名称です。黒部と言えば富山県多くの人知っています。長く使われる駅名はオーソドックスが一番。シンプルが一番。（県内）
- ・ 黒部市に新しくできる駅ですし、仮称として使っていてある程度浸透しているから。（長野県）

3 位 黒部

- ・ そのままが一番だと思います。もともと黒部ダムや黒部峡谷、トロッキ電車と全国的に有名なので、その玄関口としてはスタンダードなのが混乱なくていいと思いました。（大阪府）
- ・ シンプル イズ ベスト。黒部という地名は誰でも知っている。（千葉県）
- ・ わかりやすくシンプルでいい。「新」がつくと古くからの観光地である黒部峡谷の印象が薄まる。現在の黒部駅の名称を変えればよい。（市内）

4 位 新川黒部

- ・ 全国的に知名度の高い「黒部」と、自然豊かな「にいかわ観光圏」を表す「新川」をアピールした名称です。有名な「黒部」と知名度の低い「新川」を組み合わせることにより、バランスが保たれる。（大阪府）
- ・ 単独の市町村名ではなく、新川地区唯一の新幹線の駅として「新川」

の名をつけた方がよい（県内）。

- ・ 「黒部」という地名は全国的にも知名度が高い。また、黒部だけでなく、新川地域全体の皆さんに愛される駅になってほしい。（県内）
- ・ 当駅を利用する新幹線利用客が最も想像する観光資源は黒部峡谷鉄道と考える。その集客を考えると、黒部市に駅ができることから「黒部」の地名を含むのが望ましい。また、当駅は県東部＝新川広域圏の代表駅でもある。その駅名には周辺地域への配慮があってもよい。このことから駅名には「新川」を含むことを提案する。誤読を避けるため、「にいかわ」と表現してはどうか。（県内）

4 位 名水黒部

- ・ 黒部市は名水の里として栄えてきた。生活、文化的な面、経済的にも水とは切り離せません。豊かな水で産業も発展してきた。豊かな水のおかげであるため。（市内）
- ・ 日本一の清流に返り咲き、全国に清流イメージを売り込むため。（県内）
- ・ 日本一おいしい黒部の名水を全国の人に飲んでほしい。（滋賀県）

6 位 越中黒部

- ・ 富山＝越中の知名度にあやかり、黒部に近づくにつれ、新潟から富山に入ったことを意識してもらう。「越中」を入れることにより、歴史的な深みを感じてもらう。（県内）
- ・ 越中おわら節でも名の知られている越中。そして名水の黒部や黒部ダムでも名の知られている黒部を用いました。（県内）

6 位 黒部峡谷

- ・ 周囲の森と水の風景に溶け込む駅がコンセプトなら、まさに「黒部峡谷」だと思う。黒部峡谷に魅せられるように、魅せる駅になってほしいため。（大阪府）
- ・ 黒部の魅力を駅名のみでアピールできる。（市内）
- ・ 黒部峡谷・宇奈月温泉駅としたいところだが、長くなるので黒部峡谷駅とする。全国的に知られている「黒部峡谷」の名前を前面に出して、観光客の誘致に結び付ける。（東京都）

8 位 黒部川

- ・ 山から海からの自然が織りなすパノラマと地域文化をはぐくんだ扇状地のたたずまいは、新幹線利用客（観光客）の感動を呼び起こすと期待

する（市内）

- ・ もともと黒部市は黒部川の恩恵を受ける人々の意でつくられたものであり、この地に建てる駅として、黒部川の恵みの地、黒部川扇状地に住む人々の駅として「黒部川駅」を推したい。また、黒部、黒部川は全国的にも広く知られているから。（県内）

9位 新川

- ・ 古くから使われる「新川」の地名を全国にアピールするため。（県内）
- ・ 県東部の中心だから。（県内）
- ・ 新川地区すべての人の足であってほしい。（県内）

10位 黒部宇奈月

- ・ 観光と温泉。黒部は日本でも有名な名称。（県内）
- ・ 駅名については、シンプルで呼びやすい名前が必要です。かつ、観光PRにも資する名前が必要です。その「黒部」と「宇奈月温泉」のブランド名をたし併せて「黒部宇奈月」とした。（北海道）
- ・ 黒部峡谷、宇奈月温泉等の観光ルートの玄関口として、また、将来的な「宇奈月から黒四ルート」も視野に入れた名称とした。（市内）

11位 黒部太陽

- ・ 映画で有名になったのであやかればと思いました。（埼玉県）
- ・ 黒部と言えば、石原裕次郎と三船敏郎の「黒部の太陽」に決まっている。（愛知県）

11位 立山黒部

- ・ 立山黒部アルペンルートの入口としてお客様に降りていただけたらと思う。（市内）
- ・ 名前を聞いただけで位置関係が頭に浮かび、壮大な自然がイメージされる。（広島県）
- ・ 黒部と言えば立山。立山と言えば黒部。ワンセットみたいなものだから。（広島県）

13位 越中新川

- ・ 富山県東部の主要ターミナルであることから（東京都）
- ・ 古代よりの地名「越中」と地区名の「新川」の組み合わせ。漢字表記だと「えっちゅうしんかわ」と呼ばれることが多いと思われ、「越中にい

かわ」とひらがな混じりとしてもよいのではないか。(香川県)

14 位 名水の里黒部

- ・ 黒部は水がおいしいところなので。(県内)
- ・ 豊かな黒部川の水が、新川平野の豊かな生活を育んでいるため。(市内)
- ・ 黒部市内に駅ができることから、

15 位 アルプス黒部

- ・ 北アルプスに位置し、黒部市に設置されることから。(北海道)
- ・ 黒部に在り、北アルプスが眺望でき、雄大なイメージが描ける。(茨城県)

16 位 北アルプス

- ・ 北アルプスが一望に見えるから。(東京都)
- ・ 北アルプスが日本海に到達する場所に近い。(埼玉県)
- ・ 北アルプスよりの清流が日本海に注ぐ自然豊かな町である。(愛知県)

17 位 北アルプス黒部

- ・ 「北アルプス」で新幹線の新しい線区である富山と従来線区である長野をイメージさせ、新駅の所在地である「黒部」をつけることにより、立山連邦や黒四ダム、黒部川や宇奈月温泉をイメージさせます。この新駅一帯が富山県東部の観光広域圏の新たな窓口となしてほしい。(県内)
- ・ 富山を訪れるたびに青い空、白い山並み、碧い海と豊富な自然に魅了される。黒部の自然を代表する富山湾と北アルプス立山連邦の中間に位置するこの駅は、富山県の呉東の魅力を最大限に発信する玄関口としての役割を担う。(大阪府)

18 位 きときと黒部

- ・ 富山県は皆キトキトだと思うし、他県から来た人に「意味は分からないけれど、何か元気そうな駅だなあ」と思われてほしいから。(市内)
- ・ 生き生きとしたくろべを楽しみましょう！！(滋賀県)